

エステイの 国際交流コーナー



《 さよなら、八百津！ 》

皆さん今日は！

最近蒸し暑い雨の日が続いていますので、皆さんの仕事などは大変だと思います。しかし、私にとっては日本での最後の梅雨の季節になりますので、それを楽しむようにしています。

8月の初めに私はイスラエルへ帰国します。八百津の2年間は楽しく、早くすぎました。このコラムを見ましたら今回は第20号です。皆さんは今まで私のつたない日本語にもかかわらず楽しく読んでいただけたでしょうか。



八百津町役場の仕事は、初めての来日ではなくても、様々な体験を初めてできました。まずは農業に関する仕事です。イスラエルでは米を植えませんので、収穫などを体験したことがありません。森づくりの行事も手伝ったことがありますので、これからこの遠い町で私が植えることにかかわった森が永遠にあると考えたらとても嬉しいです。

初めて日本の学校を訪問し、子供たちと話したりして給食まで一緒に食べました。八百津の小学校にとっても感銘を受けました。小さな学校でも子供たちに様々な体験をさせ、自然と人道と地域への関心を深めるための活動をしているそうです。そしてもちろん、日本でイスラエルのことを学ぶ学校は八百津にしかありません。

このイスラエルと八百津町との特別な絆は、言うまでもなく杉原千畝のおかげです。杉原千畝記念館を何回もイスラエルの



観光客に案内しましたが、毎回彼らと一緒に感動します。帰国してからもイスラエルの人々に杉原さんの話と八百津町の話をしたいと思います。

私が2回目に来日して八百津に来た1つの目標は日本語能力を上達させることでした。日本語はまだまだ練習が必要ですが、その他に勉強になったことが多いです。



仕事や生活の中で難しいこともありましたが、確かに八百津に来てよかったと思います。外国での1人暮らしというのは簡単なことではありませんが、八百津の

人々の温かいもてなしやこの町の気さくな雰囲気になかったらそれを2年間続けることができなかつたと思います。私だけではなく、私をここで訪ねた家族や友達もすぐ八百津に惚れ込みました。この美しい、のどかな八百津町を一生忘れません。又いつか訪ねる機会を作りたいと思います。

ここまでコラムを読んでいただいた方、イベントに参加された方、街中で挨拶していただいた方、八百津の皆さん、本当にありがとうございました！

これから新しい国際交流委員の話を楽しみにしてください！

